2004年（H16年）9月　三鷹市役所・墓前

三木露風墓前祭（龍野市・三鷹市・茅ヶ崎市）　（NHK首都圏ネットワーク放映）

産経新聞 2004年9月30日

▷露風の墓前で「赤とんぼ」

街角

三鷹市生誕120年の大詩人・三木露風の墓前に、29日午後、露風が作詞した童謡「赤とんぼ」の歌碑が建いた。写真。没後40年をしのんで、露風の生誕の地・兵庫県龍野市で文人の顕彰をしている龍野ロータリークラブの会員ら、総勢一生を過ごした三鷹市の合唱連盟の人たちなど、ゆかりの地から約40人がそろい、追悼会を開いた。友の会の市山了子会長(65)は「露風さんも喜んでくれたらいいなと思う。『赤とんぼ』を世界に広めていきたい」と話していた。

10月25日から29日まで、三鷹市役所で「三木露風記念公開展」も開かれる。

東京新聞 2004年9月30日

露風墓前で「赤とんぼ」

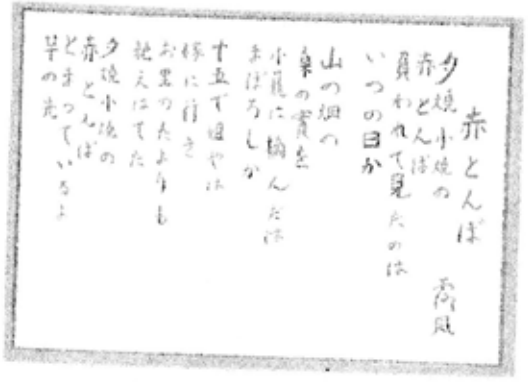
詩人・三木、ゆかりの市民ら三鷹で合唱

詩人・三木露風生誕の地である兵庫県龍野市の市民らが二十九日、露風没後四十年をしのび三鷹市にある露風の墓を訪れ、三鷹市民らとともに墓前で露風作詞の「赤とんぼ」を合唱した。写真。合唱には、「赤とんぼ」の作曲をした山田耕作ゆかりの神奈川県茅ヶ崎市民も特別参加し、互いに交流を深めた。

露風は後半生を三鷹市で過ごし、墓は同市牟礼五の大盛寺にある。この縁で、三鷹市と龍野市は二〇〇一年に姉妹都市となった。今年は露風の没後四十年にあたり、龍野市は「露風顕彰コンサート」などの記念事業を開催。三鷹市も、十月二十五―二十九日に市役所で「露風の未公開資料展」を開催する。

この日は、露風ゆかりの龍野市出身の文人の顕彰を行っている「露風敬友の会」の十五人、茅ヶ崎市の「山田耕作と赤とんぼを愛する会」の五人が三鷹市を訪問。露風の墓参り後、三鷹市合唱連盟の二十三人とともに「赤とんぼ」を合唱した。

龍野市の市山了子さん(六〇)は「没後四十年ということで、せひ墓参りをしたいと思っていた。茅ヶ崎市の方とも一緒に歌えて本当に良かったし、素晴らしい『赤とんぼ』を、世界中の人たちに歌ってもらえるよう、みんなでがんばっていきたい」と話した。参加者らはその後、露風が校歌の作詞をした三鷹市立第一小学校を訪問し、露風の資料などを見学した。



赤とんぼ　三木露風

夕焼小焼の
赤とんぼ
負われて見たのは
いつの日か

山の畑の
桑の実を
小籠に摘んだは
まぼろしか

十五で姐やは
嫁に行き
お里のたよりも
絶えはてた

夕焼小焼の
赤とんぼ
とまっているよ
竿の先

三木露風直筆「赤とんぼ」

三木露風